

広げよう！
子育ての輪

NPO法人 子育て・子育てサポート

きらきらクラブ

中高生の居場所づくり

毎週、水曜日の夜になるとにぎやかな声が響き始めます。何気ない会話をしながら、みんなが揃いはじめると大きなお鍋を囲んでトン汁やカレーなどを食べ、和やかなひと時を過ごします。お腹が一杯になったところで体育館へ。軽スポーツが始まると、ここでは失敗しても誰も責めたりしない不思議な空気が流れます。集まるメンバーは、学童のOBやその仲間、学校に行くのがちょっとしんどい子、幼児から大人まで最近では大切なコミュニケーションの場になっていきます。終わった後も、名残惜しい雰囲気の中、交わされる会話の中に、自分の思いや将来への夢などがうかがえます。最初の頃は、何も話さなかった子も今では輪が広がり、素敵な笑顔が増え、居場所ができてつづいています。中高生の居場所づくりの年間計画にそって、高島高校JRC、今津中学校ボランティアが、毎月のクリーン活動や学童の行事に積極的に参加しています。また、学習できる環境を提供する支援もしています。誰でもが集え、きらきらする大人になってもらうための場所づくりを目指しています。



◇軽スポーツに参加のS.O.さんより
軽スポーツでは、子どもから大人まで歳を問わず、皆で楽しく遊んでいます。おもにバドミントンやバレーボールなどを行っています。経験などは問わず、誰でも参加できます。軽スポーツの良いところは、日頃のストレス発散や運動不足の解消や歳の離れた友だちができることなどあります。興味のある方はぜひ一度来てみてください。

子育ての
子どもと
いい話

子育て
楽しんで
います



私は、4歳の息子と、もうすぐ3歳になる娘の母親です。息子が6か月くらいから支援センターに通いだしました。1歳7か月の時に娘が産まれ、私自身慣れない2人の育児で悩んだ時期がありました。そんな時、支援センターの先生や同じ子育て中のママたちに相談することで元気をもらい、一番大変な時期を乗り越えられました。今、私は自主サークルに入っています。サークルではクッキングをしたり、運動会をしたり、また公園で遊んだりと季節を感じながら親子で楽しく活動しています。サークルに入ると良かったなと思うことは、やっぱりいろんな人に出会えて友達になれたことです。同じ悩みを持つママたちと話すことで、気持ちが楽になったり、励まされたりしました。これからは、周りの人たちに感謝しながら、また、お互いに支え合いながら子育てを楽しんでいきたいなと思っています。

- ＝子育て支援センターへの問い合わせ＝
- マキノ地域(マキノ児童館内) ☎(27)8187
 - 今津地域(今津東保育園内) ☎(22)4833
 - 朽木地域(朽木保育園内) ☎(38)2070
 - 安曇川地域(古賀保育園内) ☎(33)1540
 - 高島地域(高島保育園内) ☎(36)0660
 - 新旭地域(大師山さくら園内) ☎(25)3399

シリーズ 学校に行けない④
不登校のゴール

不登校のゴールって、なんだと思いますか。多くの人はきつと学校に行くことだと答えられると思います。もちろんそれは間違ったことではありません。しかし、一番大事なことは「行くこと」ではなく「子ども自身が行く」と思えることです。なぜなら、不登校の子どもたちは「学校に行かないのではなく、行けない」状態にあるからです。

これ以上疲れさせない。
傷つけない。

精神科医でありスクールカウンセラーの明橋大二先生は、著書の中で不登校になった子どもと接する時に、家族や関係者が気をつけることとして「疲れている子どもを、これ以上疲れさせない。傷ついている子どもを、これ以上傷つけない」ことが何より必要だと言われています。



新しいゴール。
小さな目標を決める。

不登校になると、確かに学業や進学面で、不利なことがあるのは否めません。しかし、どうしても行けない時に、強制や威嚇で行かせ続けたり、子どもにとって最も大切な「心の健康」を失ってしまう可能性があります。不登校の解決方法として、

今すぐに登校することが困難に見える場合、新しいゴールや小さな目標を立てることが大事だと言われています。

〈新しいゴールや小さな目標の例〉

- ・子どもとゆったりとした気持ちで過ごす。
- ・一緒にご飯を食べる。
- ・笑いがある家庭にする。
- ・楽しいと感じる生活をする。
- ・朝8時まで起きられる生活にする。



子どもが不登校になった時、親は悩みます。しかし、一番しんどいのはその子自身です。だからこそ、目いっぱい関わってあげてください。そして遠慮なく相談ください。このまちには、子どもたちを支援する専門の機関があります。もちろん、相談内容などの秘密は厳守します。

【参考】 1万年堂出版発行「10代からの子育てハッピーアドバイス」(著者 明橋大二)

【参考】 秋田県総合教育センター発行「不登校への対応ノープロブレム」(大丈夫)〈1〉



《市内の子どもに関する相談機関》

- ◆教育相談・課題対応室 ☎(33)44006
いじめや不登校、友達関係のことなど教育全般に関する相談に応じています。
- ◆子ども家庭相談課 ☎(25)8517
子育てや子どもの発達・問題行動、夫婦間の暴力など家庭に関する相談に応じています。